

我が学びや

令和7年3月4日
白川小 学校便り No.12

文責:校長 村上剛史

学校教育目標: 自他を大切にし、よく聞き、ともに学び続ける白川小の子ども
～児童理解を基盤として、みんなでみんなを育て、一人一人の輝きを引き出す教育の推進～

重点目標: 伝えよう・聞こう・わかろう～心と体の元気づくり～

◆通学路変更のお知らせ

～運動場入り口(西側通用門)前の横断歩道の利用再開～

白川緑の区間堤防嵩上げ(3期)工事により、運動場入り口(西側通用門)前の横断歩道および信号機の使用ができませんでした。そのため、工事期間中は、学校側歩道を通学路としておりましたが、3月4日(火)に横断歩道と信号機の運用が再開されました。3月5日(水)の全校集会で全児童に周知したのち、利用を再開します。この期間中は、明午橋通り交差点(信号機あり)、鳥料理「よし田」前の信号機無しの横断歩道、「フェアトレード熊本」前の信号機無しの横断歩道を渡る通学路としておりましたが、今後は、西側通用門前の横断歩道を渡る通学路に戻します。学校では、必ず青信号で渡るように指導をします。ご家庭でもご確認をお願いします。

◆「健康教育」研究モデル校発表会

2月7日(金)の午後、市内教職員及び関係者含め約230名が参会のもと、本校の「心と体の元気づくり」実践研究発表会を開催しました。雨や雪が降るとても寒い中、交通誘導にご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。参会者アンケートに「保護者の皆様の献身的な協力に感謝を受けた」「丁寧に誘導してくださりととてもありがたかった」などの意見が多数寄せられました。

当日は、3年2組の体育と6年2組の総合的な学習の時間の授業公開の後、5つの分科会、全体会(講演会)を行いました。両学級の児童の学びに没入する姿、本校の実践をもとに参会者と共に学ぶ分科会、いずれも高い評価をいただきました。

◆校則見直しアンケートへのご協力をお願いします

本市では、子どもの意見表明権を実現する取組として、「校則・生徒指導の在り方の見直し」を実施し、このことを通して、民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できる児童生徒の育成につなげています。そこで、昨年度の見直し検討会で話題になった「シャープペンシルの使用」について児童にアンケートを取り、それをもとに生活委員会が中心となって見直し検討会を実施します。

つきましては、保護者のみなさんのお考えを頂戴したく存じます。「すぐる」にてアンケートを配信しておりますので、ご協力よろしくをお願いします。結果については、後日お知らせします。

◆学校評価について

本年度の学校教育活動についての学校評価へのご協力ありがとうございました。今年度、評価項目が改訂されたことで経年比較ができませんが、振り返ってみます。詳細は、学校ホームページに掲載しておりますので、どうか確認いただきますようお願いします。

肯定意見の割合については、次のとおりです。

- 1 学校は豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めているか。(児童 93% 保護者 89%)
- 2 学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいるか。(児童 89% 保護者 83%)

裏面へ続く

- 3 学校は、学校生活や地域社会をよくするために考えたり、行動したりするこどもの育成に取り組んでいるか。 (児童 75% 保護者 72%)
- 4 学校は、こどもが学習のペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っているか。 (児童 85% 保護者 83%)
- 5 学校は、こどもが対話などを通して、他者の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができているか。 (児童 90% 保護者 81%)
- 6 学校には、こどもが助けを必要とするときに先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があるか。 (児童 90% 保護者 82%)
- 7 学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合っるとともに学び合っているか。 (児童 85% 保護者 80%)
- 8 学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育に取り組んでいるか。 (児童 93% 保護者 85%)
- 9 学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めているか。 (児童 88% 保護者 86%)
- 10 学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいるか。 (児童 83% 保護者 77%)
- 11 学校は、学校の教育方針や教育目標などをわかりやすく示しているか (児童 88% 保護者 80%)
- 12 学校は、こどものよさを見つけ、こどもを理解しようと努めているか。 (児童 89% 保護者 82%)
- 13 こどもは友達となかよくしているか。 (児童 96% 保護者 90%)

[学校評議員からの提言]

- どの項目においても、児童からの評価が高いことに注目した。特に1「豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」について、本年度、健康教育モデル校として取り組みを進めてきた本校の実践が児童からの評価につながっているようである。
- 9「地域や家庭と連携した教育関係の整備」や 10「こどもの最善の利益を守る環境づくり」について、時代の変化とともに、PTA 活動の在り方も大きく変わってきたことと関係しているようである。。PTA 活動を通して、教職員と保護者がつながること、また保護者どうしのつながりが深まることで、教育効果を高めてきた頃とは違った取組が求められることを再認識した。保護者と教職員との認識が一致するよう、新たな取組につなげていかなければならない。